事業概要説明シート（17）

【１　事業概要】

事務事業名	金沢･現代会議開催費	担当課	文化政策課
根拠法令等	―	事業期間	平成　24 年度～(　5　年目)
事業内容	■鈴木大拙館の開館を契機に、鈴木大拙にゆかり深い識者や、国内外の第一線で活躍する多様な分野の方々を招き、現代に生きる人々の生き方や精神性を語り合う会議を開催する。 ○事業詳細 ［事業内容（平成28年度分）］ 鈴木大拙が生まれ 鈴木大拙館が建ち 大拙を育んだ文化が今なお息づくここ金沢で 多様な分野の識者が現代に生きる人の生き方について大拙の眼差しのもと語り合う 名　　称：金沢・現代会議　―現代に生きる・現代を生きる― テーマ「世界人としての日本人」 開催日時：平成28年11月17日（木）　18:30～21:00 場　　所：金沢市文化ホール（899席） 内　　容：第１部　講演 第２部　パネルディスカッション 出 演 者：深澤直人氏（プロダクトデザイナー、日本民藝館館長） 寺島実郎氏（(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長） ピーター・グリーリ氏（ボストン日本協会特別顧問） 浅見洋氏（石川県立看護大学教授・学長補佐　石川県西田幾多郎記念哲学館館長） 岡村美穂子氏(鈴木大拙元秘書　鈴木大拙館名誉館長) 木村宣彰氏(大谷大学元学長・名誉教授　鈴木大拙館館長)		

【２　事業費および実績】

項　　目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算）
事業費		万円 456.6	万円 460.7	万円 270.7	万円 444.2	万円 300.0
指標	来場割合（来場者数／会場席数）	100.1%	73.2%	66.7%	55.6%	―
指標	―	―	―	―	―	―

【３　市の評価】

	今後の方向性	継続	見直し、廃止の理由	―
一次評価（担当課評価）	出演者はじめ、多くの来場者の会議に対する評価は良好であり、継続的な開催を望む声が多数である。 平成２７年度からは、市民の意見を取り入れ、開催日を土曜午後から平日夜に変更するとともに、講演に重点を置いた内容に見直した。鈴木大拙館を核とする発信型事業として継続実施している。			
二次評価	今後の方向性	見直し	見直し、廃止の理由	縮小
	（こんなふうに見直していきます） 会議参加者の会場への入り込み率が低下を続けていることから、これまでの成果を検証するとともに、規模の縮小を検討する必要がある。			